

大会規程

《 競技運営 》

1. 投手の投球数は、1日70球までとする。4年生以下にあつては、1日60球までとする。
 - (1) 試合中に70(60)球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
2. 試合が6回を完了し同点の場合、または、90分を経過し同点の場合は、ただちにタイブレーク方式を採用する。無死1・2塁の状態にして、投手の投球数制限を遵守の上2回の延長戦を行い、決着がつかない時は抽選にて勝敗を決定する。
3. 今大会は、3回以降10点差・5回以降7点差によるコールドゲームを適用する。
4. 全試合、雨天・日没等での試合成立は5回終了をもってとする。
5. 雨天・日没等で5回以前に中止の場合は、翌試合開催日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。
6. 延長戦、または特別継続試合は、競技者必携内の「競技に関する連盟特別規則」少年部・学童部・女子大会の項目に準ずる。
(特別継続試合で投球できる球数は、もとの試合で投じた球数を引き継ぎ残りの球数だけとする。また、試合時間も残りの試合時間で行う。)
7. ベンチは、抽選番号の若いチームが一塁側とする。但し、1日2試合の場合、第2試合目の勝者はベンチの移動は無しとする。
8. **監督は、会場到着後ただちに本部席へ打順表を取りに来ること。**
 - (1) 第1試合のチームは、**試合開始予定時刻30分前まで**に指定の打順表を本部席に提出し、登録確認を受けたのち攻守の決定をする。
 - (2) 第2試合目以降のチームは、**前の試合3回終了時**に指定の打順表を本部席に提出し、登録確認を受け攻守の決定をすること。
9. シートノックは、5分間とする。ノッカーも選手と同様の服装で、捕手は防具を全て(マスク以外)着用のこと。補助員としてコーチ(背番号29・28)を認める。ダートサークル内に入る補助員はヘルメット着用のこと。選手の補助員はヘルメット着用厳守のこと。試合の進行状況、雨天時のグラウンド状態によりシートノックなして試合を行うことがあり、攻守決定の時に指示する。
10. 投手に関する「12秒及び20秒ルール」を適用する(競技者必携を熟読のこと)。
11. 70mラインは設けず、外野フェンスを設置する。コートによって変則の為、各コート本部に確認すること。
12. アップ会場は設けない。ただし、外野フェンス外での先発投手のみ投球練習を認める。投球練習を行う場合は、各試合コート本部に確認して行うこと(捕手の防具は全て着用して行うこと。)

《 その他 》

1. 健全なるスポーツの意義を深める為、『お互いのチーム、選手を励ます声援』をおくる応援を確立しよう。
2. チームの責任者は、参加選手の保護者より参加同意を必ず得ておくこと。
3. 参加者はスポーツ安全保険に必ず加入済みであること。
4. 大会運営に関する経費は主催者側負担で、大会参加に要する経費は参加者側の負担とする。
5. 雨天の場合、当日の試合の有・無については、午前6時に下記の県軟連学童野球HPに掲載する。
6. 大会会場にはできるだけ乗り合わせにて来場すること。

《 大会についてのお問い合わせ 》

〒919-0726 あわら市笹岡 20-87
(一社)福井県軟式野球連盟 あわら支部
理事長 北田 和彦

携帯 090-2377-3544

福井県軟式野球連盟 HPアドレス <https://fukui-jsbb.jp>